

# クリーンで、安心安全な京都駅前周辺へ



数多くの来訪者を  
迎え入れる京都の玄関口、  
京都駅前周辺。  
京都を訪れる人々の第一印象を  
よいものにし、  
住民が安心安全に  
暮らしていくことができる  
まちを目指して、  
下京区では取組を進めています。

## ストップノ放置自転車 定期的な啓発活動 に取り組みます

京都駅前周辺の住民、商店街、事業者、関係行政機関で構成される京都駅前周辺駐輪対策協議会では、京都駅前周辺が美しく歩きやすいまちとなることを目指して、放置自転車などを防止する啓発活動に定期的に取り組みます。活動時には、構成員が啓発用たすきを



かけ、啓発ビラの配布や呼びかけなどを行います。  
 (調) 総務課 (☎371・7164)

京都市長

榎本頼兼



京都駅前周辺が京都の玄関口にふさわしい、より美しい街並みとなるよう、駐輪マナーの向上など、区民の皆様のご理解とご協力をようしくお願いいたします。

## 3月8日(木)実施

### 下京区クリーン&セーフティ大作戦

下京区生活安全推進協議会では、今年度も京都駅前周辺を美しくする「下京区クリーン&セーフティ大作戦」を実施します。



協力し街頭啓発、違法広告物の除去、散乱ゴミの収集のほか、放置自転車の撤去や違法駐車を取り締りを行い、まちの美化に取り組みます。

当日は、住民の皆さんや各種団体、事業者、警察署、行政機関が互いに

日時 3月8日(木)午後2時~3時  
 (調) まちづくり推進課 (☎371・7170)

## 下京区民ギャラリーを開催します

2月27日(火)~3月16日(金)

展示作品のジャンルが増えました

区民の皆さんから募った作品を展示する下京区民ギャラリーを開催します。従来は、写真展という形で開催していましたが、今年から写真のほか、絵画や短歌・俳句、俳画にジャンルを広げ、さまざまな作品を展示いただけるようになりました。区民の皆さんの力がそろいます。ぜひ足をお運びください。  
 日時 2月27日(火)~3月16日(金)午前8時30分~午後5時(土・日は除く)  
 場所 下京区役所1階ロビーほか  
 主催 下京区ふれあい事業実行委員会なかつくり部会  
 (調) まちづくり推進課 (☎371・7170)

## 下京区地域福祉シンポジウム

支えあい、助けあう、心がかようまちづくり

「コミュニティを大きく、地域を支える大きな力となるボランティア活動の状況や活動への参加などをテーマに、シンポジウムを開催します。ボランティアとは何か、地域で助け合って暮らすとはどう



昨年の様子

いつどこか、シンポジウムに参加して、ともに考えてみませんか。  
 日時 3月8日(木)午後2時~4時  
 場所 ひと・まち交流館 京都(河原町通五条下る東側)  
 コーディネーター 志藤修史氏(大谷大学文学部社会学科専任講師)  
 費用 無料 申込み 不要  
 定員 180人  
 主催 下京区地域福祉推進委員会  
 (調) 支援課 (☎371・7218) / 下京区社会福祉協議会 (☎361・1881)

## 企業価値を高めてみませんか 企業価値創出(パリュークリエーション)支援制度

(財)京都市中小企業支援センターでは、中小企業者の方々が、経営革新を図り、企業価値を高めようとする事業計画を募集しています(企業価値創出(パリュークリエーション)支援制度)。応募のあった中から、審査委員会により優秀と認定され

た計画を提出された企業には、オスカー認定が授与され、金融支援を含む、さまざまな支援を受けていただくことができます。  
 下京区からは、11行政区の中で最も多い14企業が、これまでにオスカー認定を受けており、業種も情報処理業や製造業、卸売・小売業など、多岐にわたっています。センターでは、さらに元気になろうとお考えの中小企業者の方々の応募をお待ちしています。詳細については、ホームページ <http://www.kyoto-sen.or.jp/news/index002.html>をご覧ください。  
 (調) 京都市中小企業支援センター (☎211・9311)



花粉症トピックス

花粉症といえば、スギ花粉・ヒノキ花粉によるものが代表的で、くしゃみ・鼻水・鼻づまりに加えて、目のかゆみ・なみだ目などの症状が現れます。毎年2月から4月にかけて、花粉の飛散に合わせ症状が出てきます。



治療のコツは、シーズン中は症状が軽くなっても、薬を飲み続けることです。また、花粉症はスギ・ヒノキ花粉の鼻に入る量が少なければ、症状が軽くなります。外出する時はマスク・メガネ・帽子を着用しましょう。手術的な治療については専門医に相談してください。  
 京都市立病院耳鼻いんご科 三枝三郎

花粉症といえは、スギ花粉・ヒノキ花粉によるものが代表的で、くしゃみ・鼻水・鼻づまりに加えて、目のかゆみ・なみだ目などの症状が現れます。毎年2月から4月にかけて、花粉の飛散に合わせ症状が出てきます。

治療のコツは、シーズン中は症状が軽くなっても、薬を飲み続けることです。また、花粉症はスギ・ヒノキ花粉の鼻に入る量が少なければ、症状が軽くなります。外出する時はマスク・メガネ・帽子を着用しましょう。手術的な治療については専門医に相談してください。  
 京都市立病院耳鼻いんご科 三枝三郎